

# 中井まれかつカップ 大会ルール

2012/5/13

## ○メンバーについて

- 3人一組で1チームとする。
- メンバーの順番はスコアシート記入時の順番で固定とする。対戦毎にスタイルや順番を変える事はできない。
- テーブルナンバーの置いてある席が大将の座る席とする。
- メンバーの途中変更は認められない。

## ○使用可能なカードについて

- 当大会では、5月12日(土)までに発売されるすべての商品に含まれるカード、配布されるPRカードが使用可能です。
- ※5月12日(土)発売の「アクエリアンエイジ エキストラパック fortissimo」も使用可能です。
- ※先行配布のカードは使用できませんのでご注意ください。

### 【ギャラクシースタイル】

- 下記に収録されているカードのうち、ギャラクシースタイルに対応しているカードが使用可能です。
- ・2011年10月28日発売の「始まりの地球」以降発売されたエクспанションに収録されているカード
  - ・ギャラクシースタイル対応のエキストラパック、エキストラエクспанションのカード
  - ・ギャラクシースタイルスタイル対応の各種PRカード
  - ・その他、ギャラクシースタイルスタイルで使用可能と定めたカード

### 【エクストリームスタイル】

- 下記に収録されているカードのうち、エクストリームスタイルに対応しているカードが使用可能です。
- ・「遺伝子の力」以降発売されたエクспанションに収録されているカード
  - ・エクストリームスタイル対応のエキストラパック、エキストラエクспанションのカード
  - ・エクストリームスタイル対応の各種PRカード
  - ・その他、エクストリームスタイルで使用可能と定めたカード
- エクストリームスタイル制限カードを確認する際は、会場内の掲示物かジャッジを呼び確認を行ってください。

### 【アンチェインスタイル】

- 下記に収録されているカードのうち、スタンダードスタイルに対応しているカードが使用可能です。
- ・「遺伝子の力」以降発売されたエクспанションに収録されているカード
  - ・アンチェインスタイルスタイル対応のエキストラパック、エキストラエクспанションのカード
  - ・アンチェインスタイルスタイル対応の各種PRカード
  - ・その他アンチェインスタイルで使用可能と定めたカード

※また、上記の使用可能なカードと同名のカードであれば、過去のカードでも使用可能です。  
その他の過去のカードは全て使用不可となります。  
※同名カードのテキストが異なるカードにつきましては、最新エクспанションのテキストに準じます。  
※使用不可とされているカードの使用が発覚した場合、本日の全ての対戦結果を没収させていただく場合がございます。予めご了承下さい。

## ○大会ルール詳細

- 1対1の1本勝負の対戦を3組行う。
- 1回の対戦は30分で行う。
- デッキの途中変更は認められない。  
※サイドボードは禁止。
- 先攻、後攻は7枚のドロウの前にジャンケンで決める。(勝った方が先攻・後攻を選択)
- 先攻のファーストドロウはなし。
- 後攻は1回のみ手札の引き直し可。手札を引き直す場合、手札を山札に戻してから、後攻、先攻の順にシャッフルを行い、その後、手札を引き直す。
- 開始の合図があるまで、手札を引かない。
- プレイに関する相談・助言、それに類する行為は禁止する。
- その他、詳細は最新のアクエリアンエイジルールブックに準ずる。
- ゲームの勝敗
  - ・敗北条件
    1. ダメージ置き場に置かれたカードが10枚以上になった瞬間。
    2. デッキにカードが一枚も無い状況で、デッキからカードを引かなければならない。
    3. 自身が敗北を認める宣言をする。  
(投了した場合、自分の受けダメージは10点とカウントし、自分の与ダメージは0とする。)
  - ・勝利条件  
対戦相手を敗北させ、かつ自分が敗北していないプレイヤーの勝利。
  - ・引き分け
    - 1.両者が同時に敗北した場合、引き分けとする。
    - 2.終了の合図があった時点で勝敗が決していない場合、そのターンの終了を待たずして引き分けとする。
- 3組の対戦の結果、勝敗数の多いチームを勝ちとする。勝ち数が並んだ場合、引き分けとする。
- 確定回戦のスイスドロウ形式で行う。回戦数は開会式で発表する。  
成績の上位チームは下記の優先順位に基づいて決定する。
  - ・チーム内勝利者数
  - ・チーム内与ダメージ合計数
  - ・チーム内受ダメージ合計数
  - ・チームリーダー同士のじゃんけん
- 本大会を通して、2回目の警告を受けた場合、その場で失格となる。
- いかなる場合でも、ジャッジ・スタッフの判定・指示には従わなければならない。
- 遅延行為に関する注意
  - ・対戦相手が故意に対戦時間を引き延ばしていると判断した場合は挙手し、ジャッジを呼んで下さい。
  - ・ジャッジの判断により試合時間の延長、または追加のターンを行うことがあります。
  - ・ジャッジが故意の遅延行為と判断した場合、即座に失格となる場合があります。
- 上告について
  - ・ジャッジの裁定に納得ができない場合には、ヘッドジャッジに上告することができます。  
上告の際、改めてヘッドジャッジが裁定を下しますが、この裁定がジャッジの下した裁定と同じ場合でも異なる場合でも最終的な裁定となります。本日の大会において、その裁定が覆ることはありません。